



**第9期 大津市
高齢者福祉計画・介護保険事業計画
(おおつゴールドプラン2024) の
計画値と実績値について**

(1) 計画値と実績値の比較表

	計画値											
	第7期 累計	第8期			第8期 累計	第9期			第9期 累計	第9期		
		H30	R元	R2		R3	R4	R5		R6	R7	R8
第1号被保険者数 (人)	269,332	88,150	89,922	91,260	282,350	93,022	94,117	95,211	289,097	95,428	96,424	97,245
要支援・要介護認定者数 (人)	54,774	17,597	18,254	18,923	55,941	17,950	18,646	19,345	59,413	19,265	19,785	20,363
認定率 (%)	20.3	20.0	20.3	20.7	19.8	19.3	19.8	20.3	20.5	20.2	20.5	20.9
総給付費 (千円)	75,656,712	23,442,583	25,182,380	27,031,749	81,510,502	25,704,194	27,146,559	28,659,749	86,690,640	28,105,982	28,854,183	29,730,475
施設サービス (千円)	20,323,915	6,448,625	6,610,939	7,264,351	23,255,914	7,295,002	7,616,751	8,344,161	23,366,460	7,782,254	7,792,103	7,792,103
居住系サービス (千円)	9,231,120	2,826,118	3,135,301	3,269,701	9,637,093	3,065,322	3,200,899	3,370,872	10,675,765	3,448,667	3,554,670	3,672,428
在宅サービス (千円)	46,101,677	14,167,840	15,436,140	16,497,697	48,617,495	15,343,870	16,328,909	16,944,716	52,648,415	16,875,061	17,507,410	18,265,944
第1号被保険者1人あたり給付費 (千円)	281	266	280	296	289	276	288	301	300	295	299	306

	実績値											
	第7期 累計	第8期			第8期 累計	第9期			第9期 累計	第9期		
		H30	R元	R2		R3	R4	R5		R6	R7	R8
第1号被保険者数 (人)	271,328	89,107	90,386	91,835	281,604	92,951	93,950	94,703	192,278	95,705	96,573	-
要支援・要介護認定者数 (人)	49,930	16,043	16,649	17,238	55,181	17,691	18,465	19,025	39,745	19,624	20,121	-
認定率 (%)	18.4	18.0	18.4	18.8	19.6	19.0	19.7	20.1	20.7	20.5	20.8	-
総給付費 (千円)	70,195,586	22,568,089	23,408,236	24,219,261	77,970,078	25,040,262	25,753,690	27,176,126	28,272,822	28,272,822	-	-
施設サービス (千円)	19,540,046	6,271,976	6,529,888	6,738,182	22,018,003	7,081,368	7,312,921	7,623,713	8,060,178	8,060,178	-	-
居住系サービス (千円)	8,767,006	2,831,835	2,911,895	3,023,276	9,660,766	3,110,834	3,148,187	3,401,745	3,579,705	3,579,705	-	-
在宅サービス (千円)	41,888,534	13,464,278	13,966,453	14,457,803	46,291,309	14,848,060	15,292,582	16,150,668	16,632,939	16,632,939	-	-
第1号被保険者1人あたり給付費 (千円)	259	253	259	264	277	269	274	287	147	295	-	-

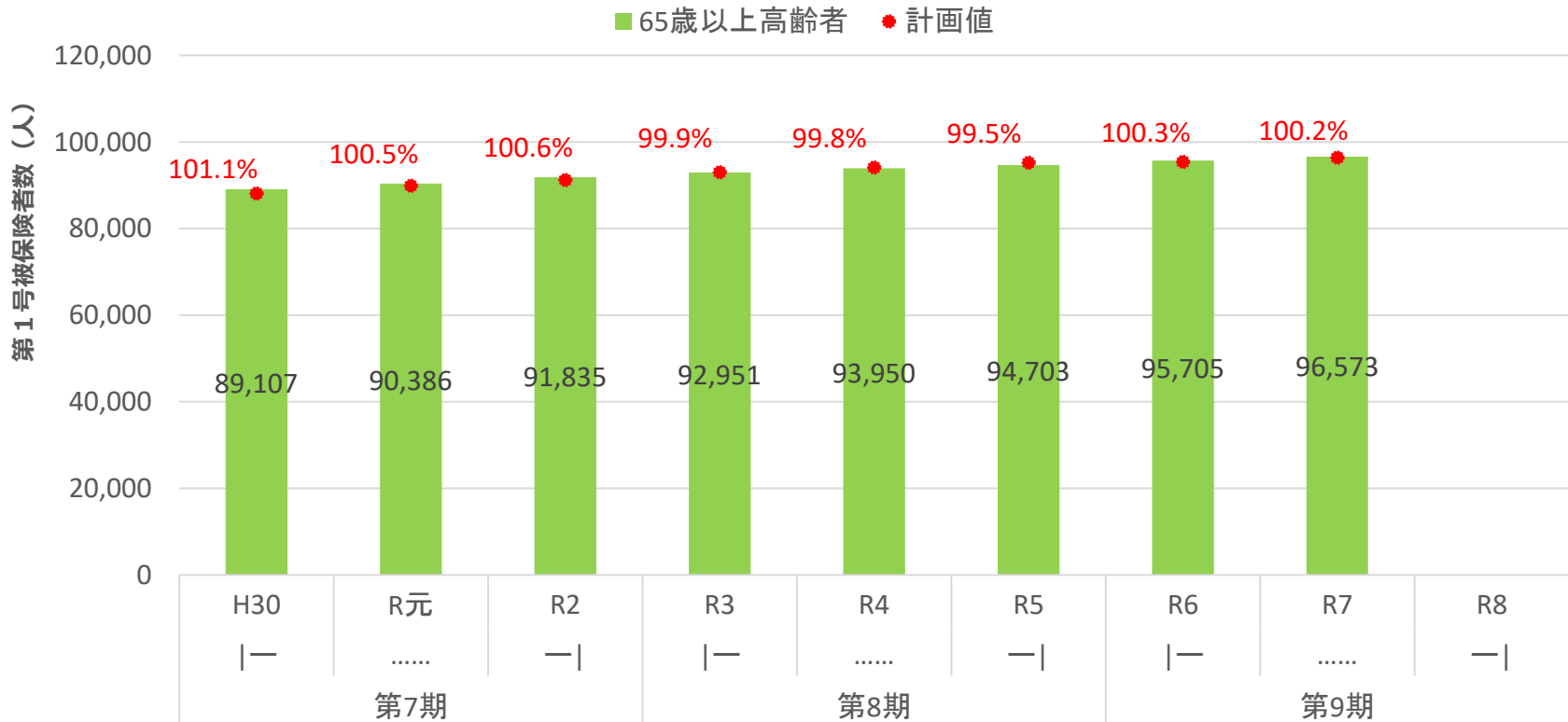
	対計画比(実績値/計画値)											
	第7期 累計	第8期			第8期 累計	第9期			第9期 累計	第9期		
		H30	R元	R2		R3	R4	R5		R6	R7	R8
第1号被保険者数	100.7%	101.1%	100.5%	100.6%	99.7%	99.9%	99.8%	99.5%	66.5%	100.3%	100.2%	-
要支援・要介護認定者数	91.2%	91.2%	91.2%	91.1%	98.6%	98.6%	99.0%	98.3%	66.9%	101.9%	101.7%	-
認定率	90.5%	90.2%	90.7%	90.5%	98.9%	98.6%	99.2%	98.9%	100.6%	101.5%	101.5%	-
総給付費	92.8%	96.3%	93.0%	89.6%	95.7%	97.4%	94.9%	94.8%	32.6%	100.6%	-	-
施設サービス	96.1%	97.3%	98.8%	92.8%	94.7%	97.1%	96.0%	91.4%	34.5%	103.6%	-	-
居住系サービス	95.0%	100.2%	92.9%	92.5%	100.2%	101.5%	98.4%	100.9%	33.5%	103.8%	-	-
在宅サービス	90.9%	95.0%	90.5%	87.6%	95.2%	96.8%	93.7%	95.3%	31.6%	98.6%	-	-
第1号被保険者1人あたり給付費	92.2%	95.1%	92.5%	89.1%	96.0%	97.3%	95.0%	95.3%	49.0%	100.3%	-	-

【実績値】「第1号被保険者数」、「要介護認定者数」、「要介護認定率」は厚生労働省「介護保険事業状況報告」9月月報。「総給付費」は厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

【計画値】介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

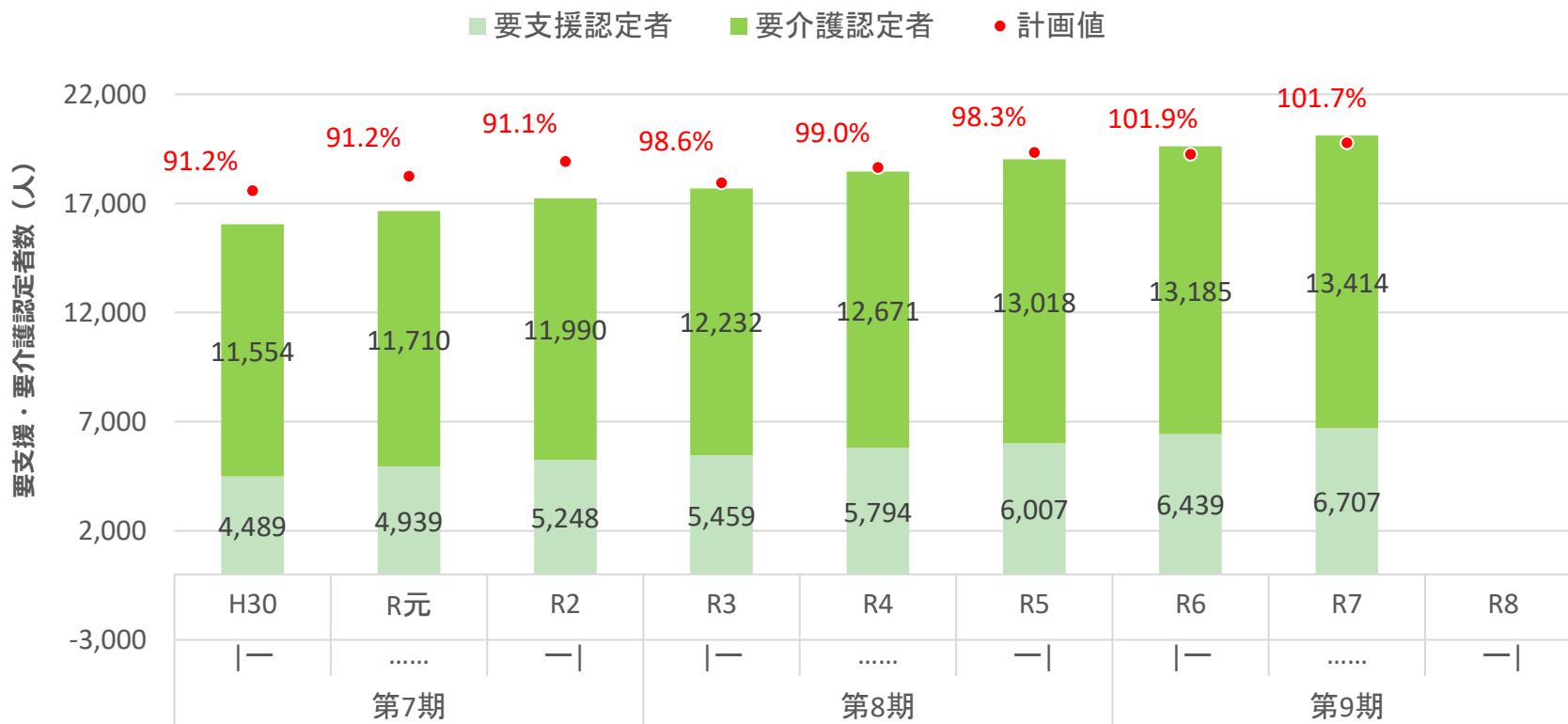
(2) 第1号被保険者数

- 第1号被保険者数はおおむね計画値どおり推移しており、今後、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年頃までは緩やかに増加していく見込みである。



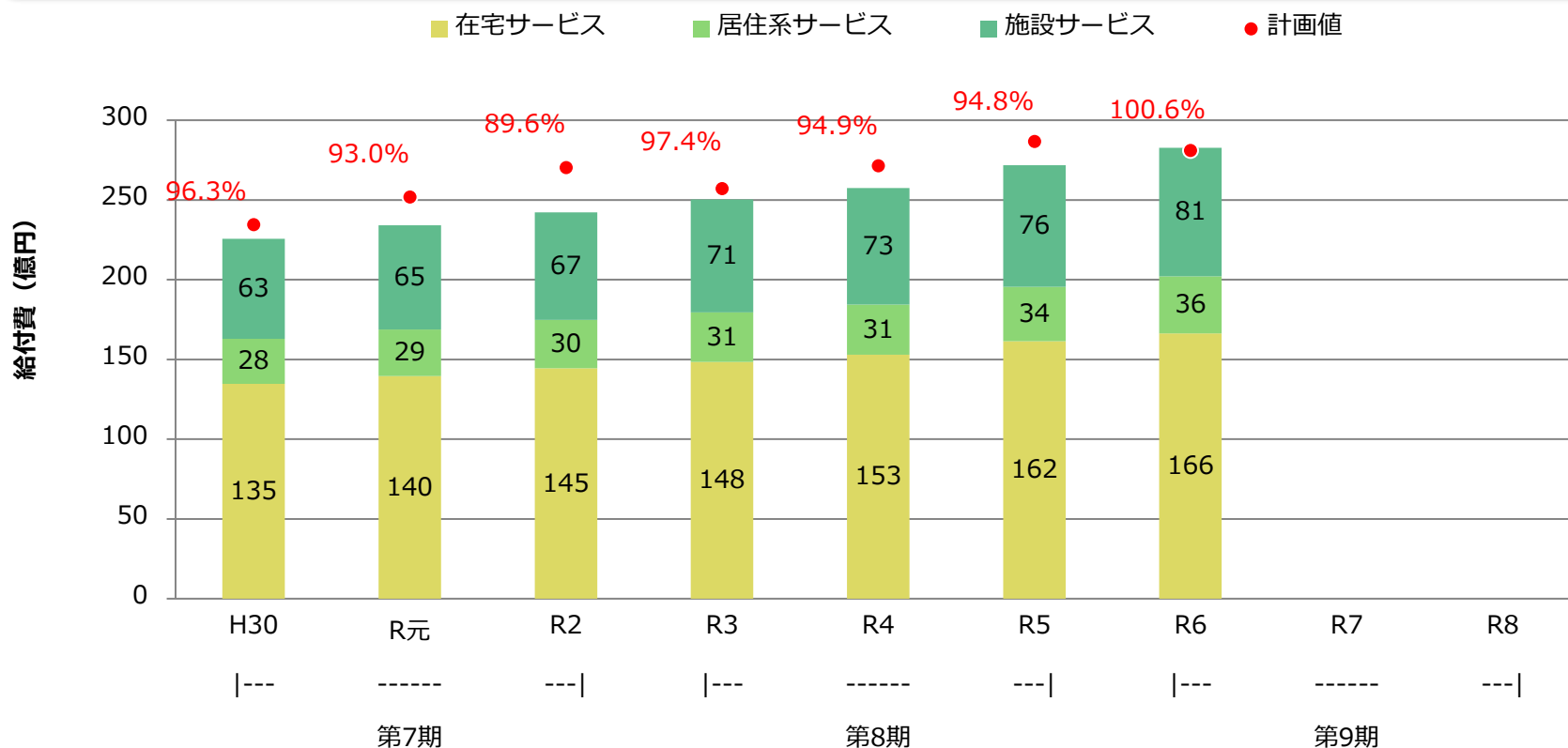
(3) 要支援・要介護認定者数

- 令和6年度、令和7年度の第1号被保険者の要支援・要介護認定者数は、計画値を若干上回った。
- 認定率は令和6年度が20.5%、令和7年度が20.8%だった。



(4) - ① 総給付費

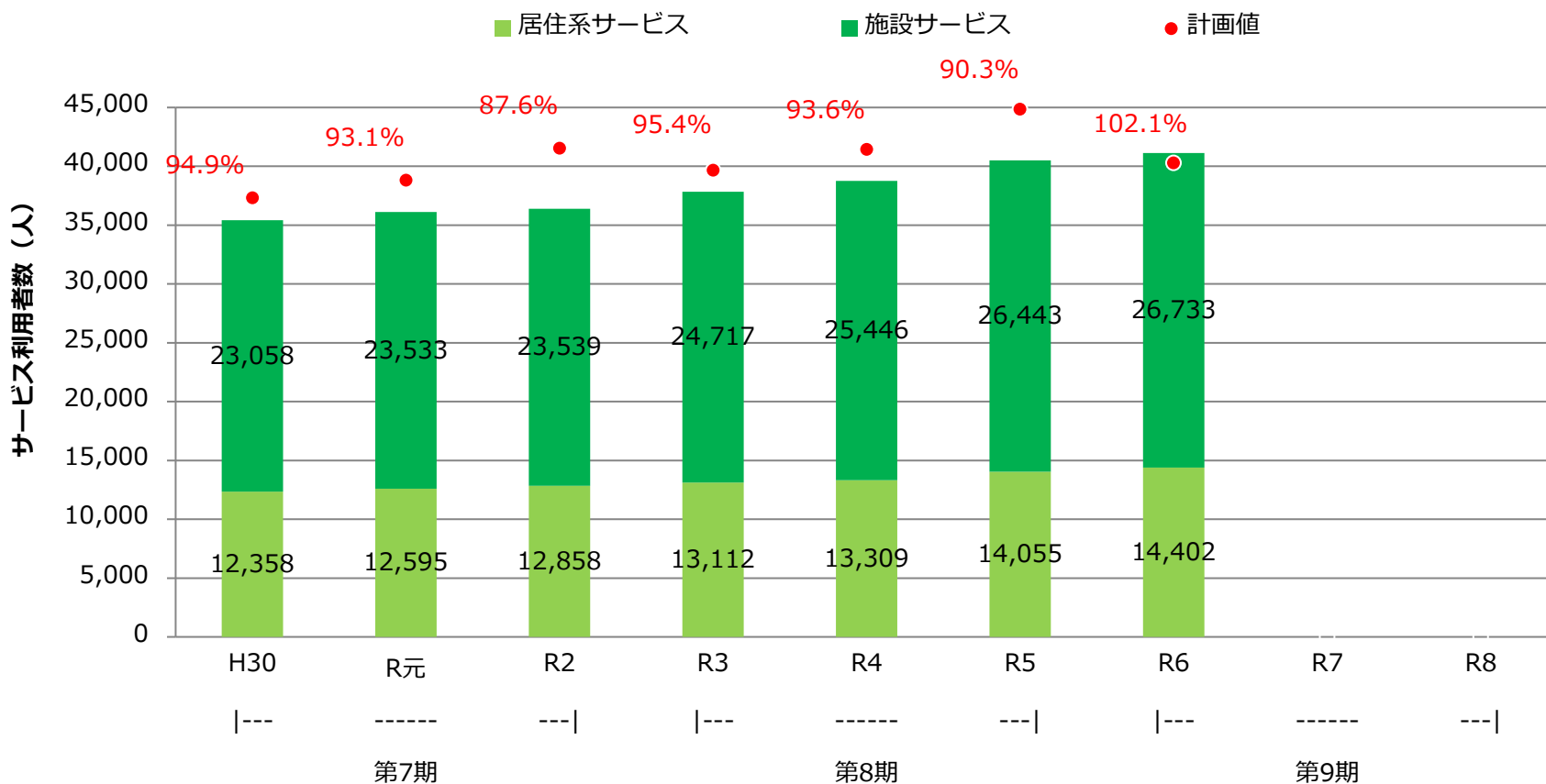
- 令和6年度の総給付費（介護給付費・予防給付費）は、要支援・要介護認定者数の増加等により、計画値を若干上回った。
- 令和7年度、令和8年度においても、総給付費が増加することが見込まれる。



厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報/月報より

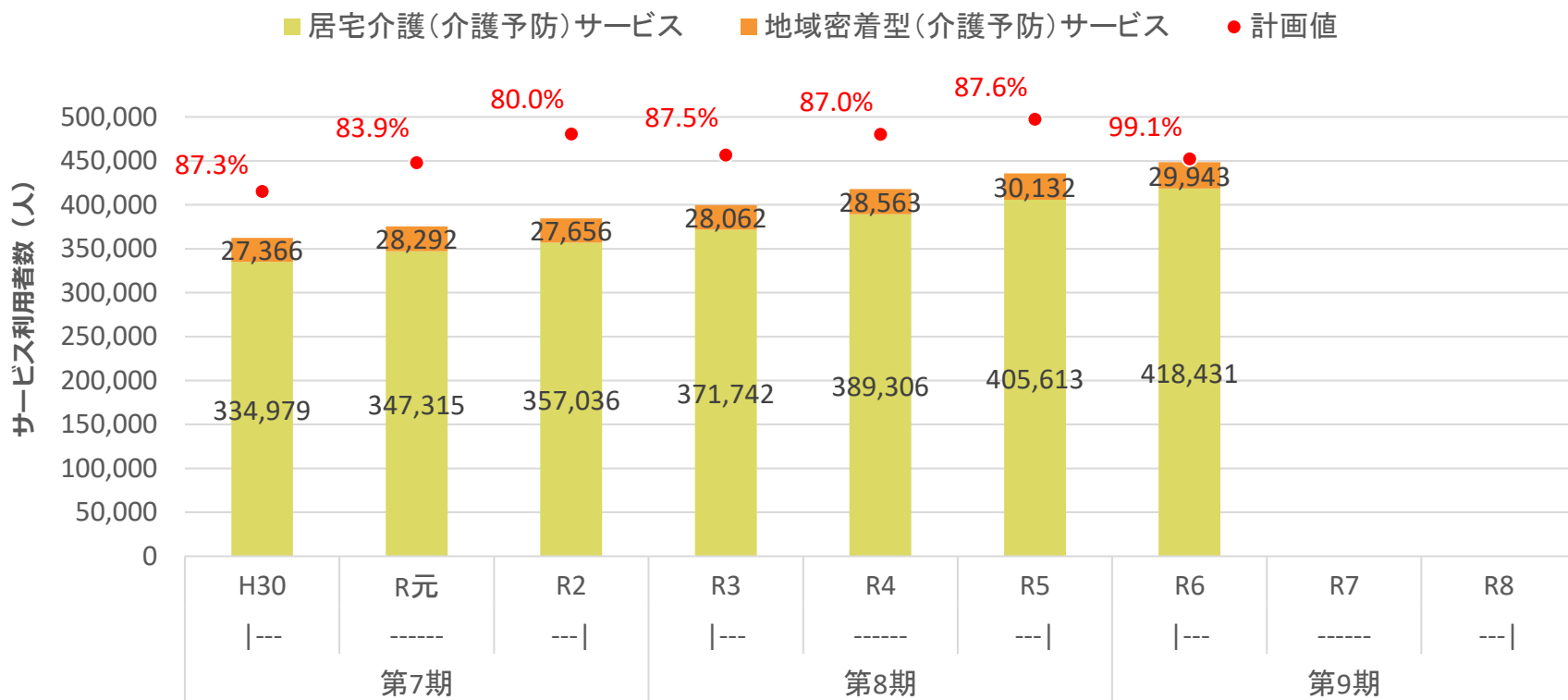
(4) - ② 施設・居住系サービスの利用者数

- 居住系サービスでは、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の利用者数が増加している。
- 施設サービスでは、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護医療院の利用者数が増加している。



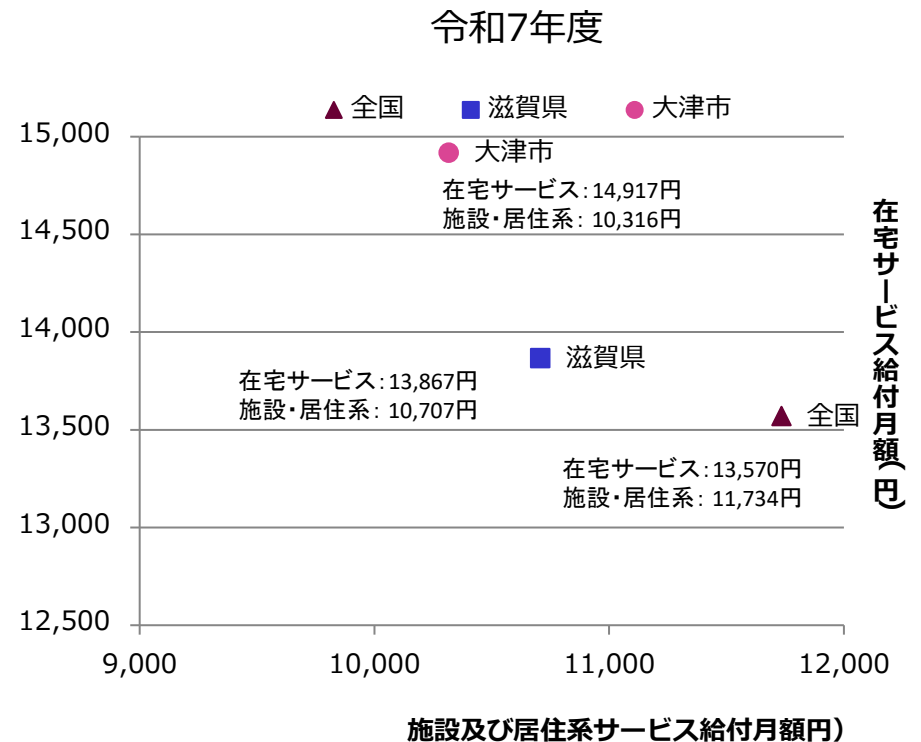
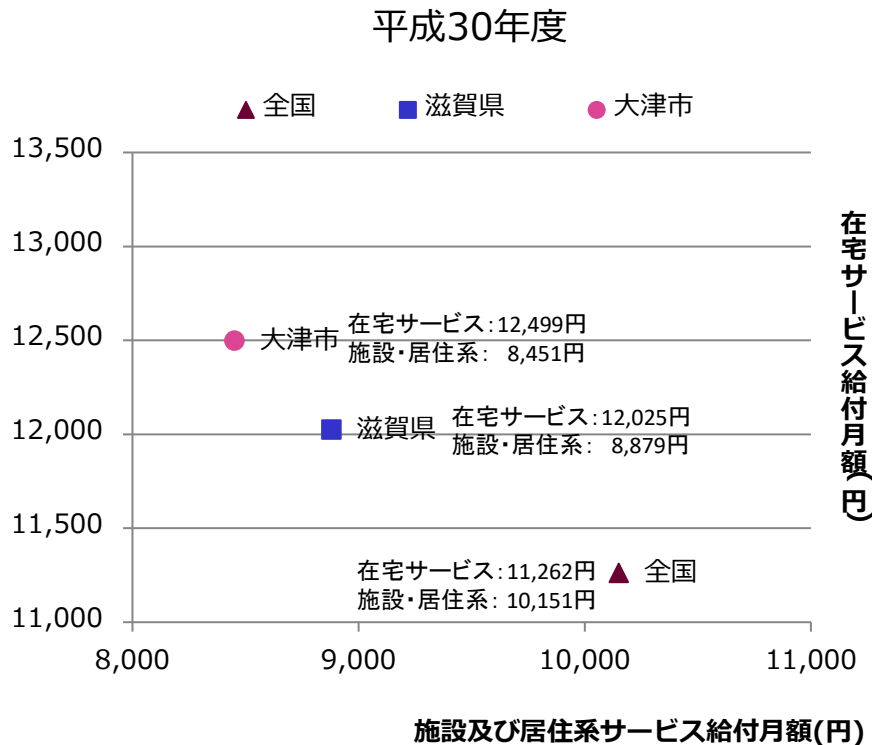
(4) - ③ 在宅サービスの利用者数 (居宅介護サービス・地域密着型サービス)

- 令和6年度の在宅サービスの利用者数は、おおむね計画値どおりであった。
- 居宅介護（介護予防）サービスは、毎年利用者数が増加している。
- 地域密着型（介護予防）サービスは、利用者数に大きな変動は見られない。



(5) 第1号被保険者1人当たり給付費

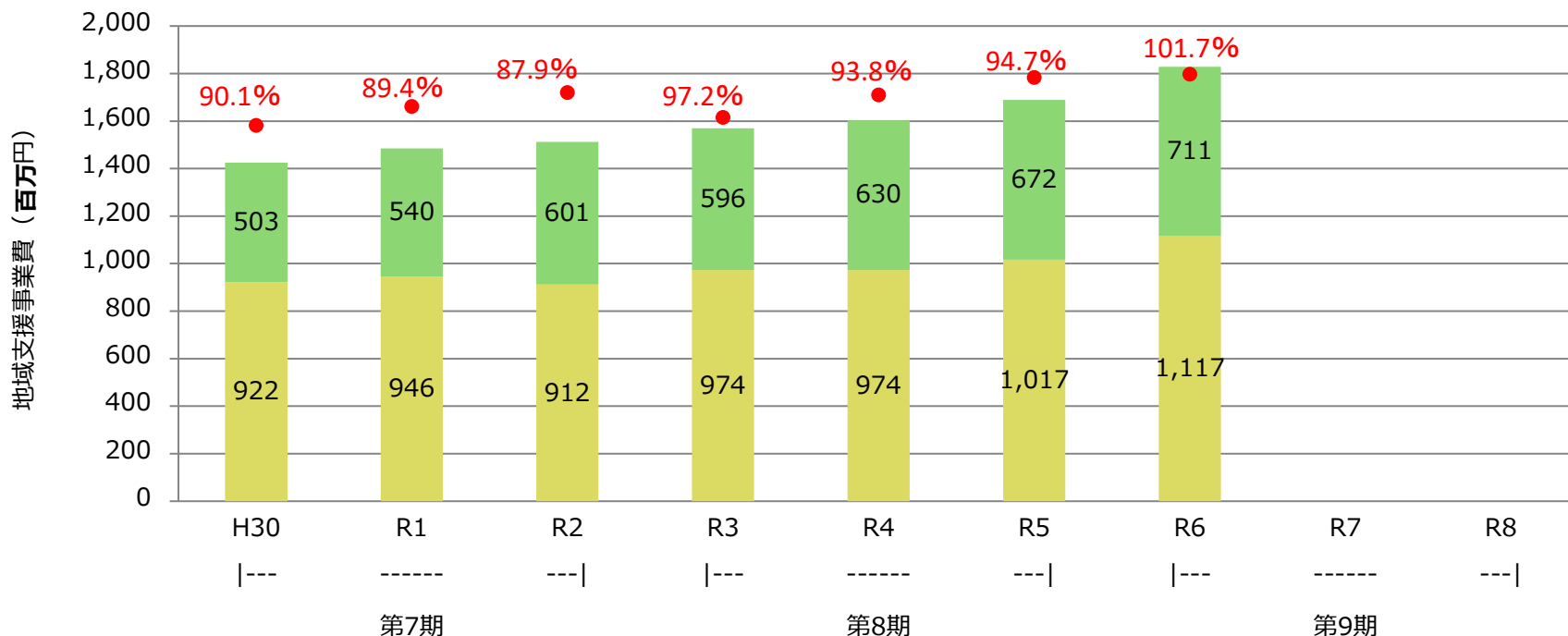
- 大津市は、全国や滋賀県の平均と比較して「在宅サービス」の1人当たり給付費が多く、「施設・居住系サービス」の1人当たり給付費は少ない。
- 平成30年度と比較して、大津市、全国、滋賀県とも「在宅サービス」、「施設・居住系サービス」のいずれも給付費が伸びている。



(6) 地域支援事業費

- 要支援者・総合事業対象者の訪問型サービス及び通所型サービス等に要する費用は、令和2年度以降増加している。
- 包括的支援事業に要する費用は、年次的に地域包括支援センターを整備することで増加している。
- 任意事業では、成年後見制度利用支援、紙おむつ給付及び配食サービスなどに要する費用が増加している。

■ 介護予防・生活支援サービス事業費 ■ 包括的支援事業・任意事業費 ● 計画値

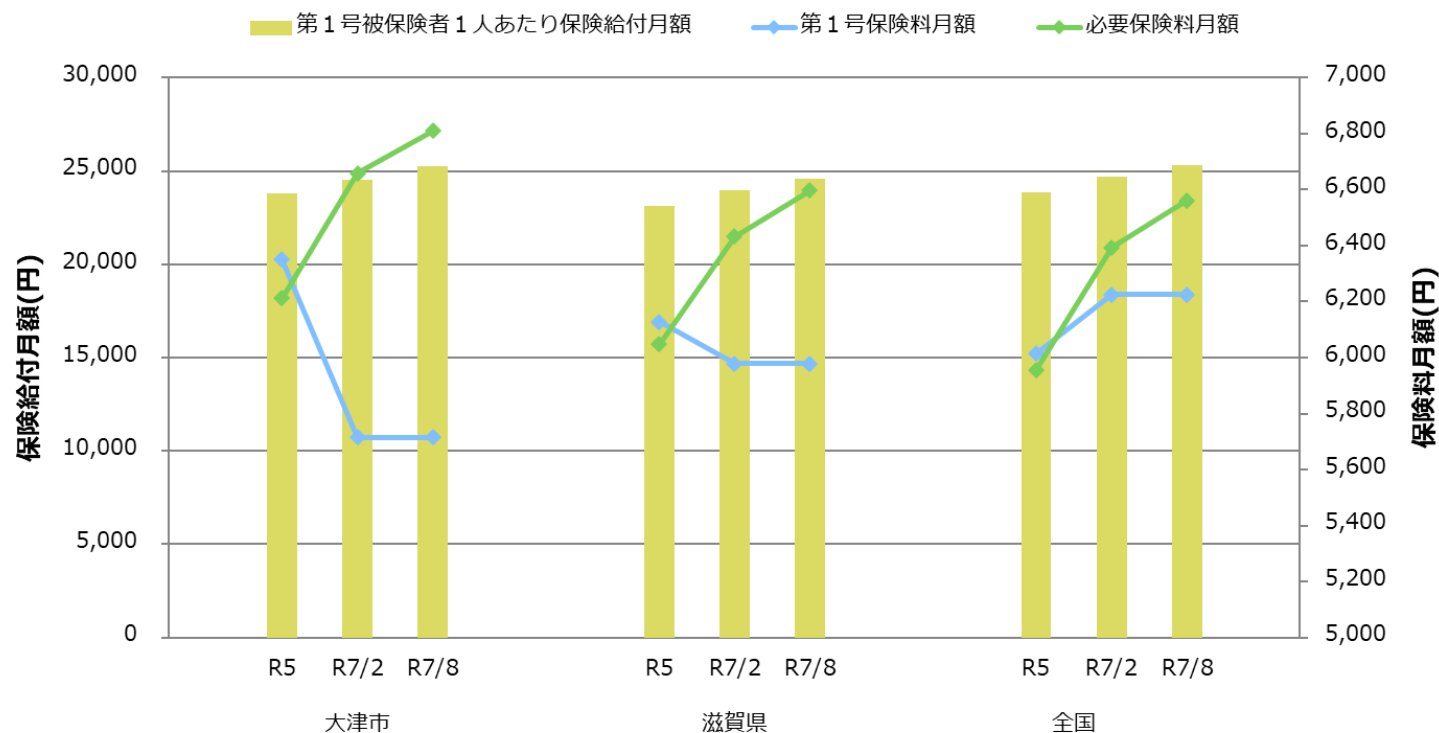


厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報/月報より

(7) 介護保険料

- 第9期の月額基準保険料は5,715円、年額基準保険料は68,580円。(第8期はそれぞれ6,350円、76,200円)
- 大津市は、介護給付費準備基金を活用し保険料基準額を第8期から1割引き下げたことにより、第1号保険料月額と必要保険料月額との差が大きくなっている。

第1号被保険者1人あたり保険給付月額・第1号保険料月額・必要保険料月額



(時点) 令和5年(2023年)、令和6年(2024年)、令和7年(2025年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6、7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および介護保険事業計画報告値

(8) まとめ

- 令和7年度の第1号被保険者数は、計画値を149人上回った。
- 令和7年度の第1号被保険者の要支援・要介護認定者数は、計画値を336人上回った。
- 令和6年度の総給付費は、計画値より「在宅サービス」で約2億4千万円下回り、「居住系サービス」で約1億3千万円、「施設サービス」で約2億8千万円上回った。



- 団塊の世代（昭和22～24年生まれ）が後期高齢者となり、第9期計画の推計では令和8年における第1号被保険者の要支援・要介護認定者数は約2万4百人となる見込みである。
- 総給付費(在宅サービス・居住系サービス・施設サービス)は、要支援・要介護認定者数の増加等により、第9期計画の推計では令和8年度には約297億円となる見込みである。



- 持続可能な介護保険制度とするために、介護予防・日常生活支援総合事業の推進、介護人材の確保や介護保険サービスの整備等、引き続き介護保険サービスの基盤整備を進めるとともに、要支援・要介護認定者数の推移や介護報酬改定等の影響を踏まえながら、給付費の推移を注視していく。